

北区会 自由な趣味の会

第47回「書道とペン字の会」活動計画

2022年 6月 20日(月)

1. 参加者と場所と時間

時 間	場 所	参 加 予 定 者
9時00～12時00	星和台ファミリーホール	講師藤澤淑子: 庶務土井、佐伯、鬼村、長谷川、道満、山崎、瀬町、味村 永井、平井、山田、敬称略12名

はじめの会

書の生命は、その書線にある。これは昔も今も変わらねい。変わったのは残念ながら今の人は苦しい修練を好まない事書を学ぶ方々は書線を大切に、結構を美しく書く事に努力をしよう。

2 藤澤講師一言

「行書」の学習に最も大切なことは、楷書をしっかり身につけておくことです。執筆法など楷書の延長線上にあります。やや運筆の速度が早くなり、結構や線が穏やかで柔らかくなる点が違っています。しかし柔らかさの中には骨力ある表現が大切で、これらを体得するには練習による以外方法はない。

3 藤澤講師 提案の書

* 藤澤講師が作品 書の書き方説明と添削をして頂く。

是までの手本と今月本番の書。どうぞ日々の練習してください！練習こそ進歩の道。

- 第44回練習書
- 楷書「残紅」&行書「残紅」
意味 散っていく桃花を惜しんだ詩。
 - 楷書「馬又朽納隍」 行書「分跡之時」
- ペン字
- 愛唱歌『遠い世界に』西岡たかし フォークの名曲
雲にかくれた小さな星はこれが日本だ私の国だ若い力を体に
感じてみんなで歩こう長い道だが一つの道を力のかぎり
- 第45回練習書
- 楷書「卑宮菲食」
意味
 - 行書「言未馳而」
- ペン字
- 愛唱歌『遠い世界に』西岡たかし フォークの名曲
雲にかくれた小さな星はこれが日本だ私の国だ若い力を体に
感じてみんなで歩こう長い道だが一つの道を力のかぎり
- 第46回練習書
- 楷書「蔵垢」&行書「蔵垢」
意味 帝は御心が広く、他人の欠点を胸にしまって恥を忍ぶ
 - 行書 成化 常常
- ペン字
- 歌人と謝野晶子 歌集「小扇」
春むかし夢に人見し京の山の湯の香に似たる丁字の小雨
意味 もう過去となった春の日、あの人を夢に見た京都の山のなつかしい湯の香に似ている小雨に濡れる丁字の花よ
- 第47回練習書
- 楷書「流螢」&行書「流螢」
意味 飢えると岩穴に巣くう燕を食糧とし、暗闇では螢の明かりを頼りに道を
捜す、流人の行路の苦難を表した言葉
 - 行書 現常之世 楷書「衣化選列」
- ペン字
- 夏目漱石＝「漱石詩集」
箱根の山中にこととて鳥の轉りて宿の夜明けが知らされるまだ衣
ざわりの感触が冷やりとすればやがて雨がやってくるなど予知で
意味 鳥啼いて、天おのずから曙け、衣冷ややかにして、雨まさに来たらんとす

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備をお願いします
- 3) 一回500円の諸費を参加出席者をお願いします。

次回予定

第48回活動計画 予定

令和四年 7月 11日(月)

9時～12時

場所: 星和台ファミリーホール